

2月



2025年

みやま

第321号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/>



反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS:repetitive Transcranial Magnetic Stimulation) を導入しました。

院長 平川 淳一

反復経頭蓋磁気刺激（以下；rTMS）といっても、始めてこれを聞く人は多いと思います。脳は電気的な仕組みで活動していることは皆様、ご存知と思いますが、これをうつ病の治療に応用したのが、rTMSです。磁気を頭蓋骨の外からあて、脳皮質に渦電流を誘導し、ニューロンを刺激することによって低侵襲的に大脳皮質や皮質下の活動を修飾することができる技術です。わが国でも、既存の薬物療法に反応しない大うつ病性障害の治療装置として2017年9月に承認されました。前述しましたように、対象疾患は「中等症以上のうつ病エピソード、および反復性うつ病性障害」となります。難治性のうつ病は、外来だけではズルズル時間がかかってしまい、長期に休業を必要とする患者さんが少なくありません。薬物療法では治療が難しい患者さんに対する非薬物療法の組み合わせが必要です。当院では、認知行動療法や身体リハビリテーションも有効であると考えています。薬物療法を柱に、rTMS、認知行動療法、身体リハビリテーションを駆使し、可能な限り手厚い治療を提供していこうと思います。どうか、ご期待ください。

【表紙】院長あいさつ 【P2】第2回ネット・ゲーム依存支援者向け研修会の開催報告

【P3】(病棟たより) A2病棟より 【P4】(リレー記事) 総務課の紹介

【P5】(委員会紹介) 病院教育委員会 【P6】初午について・編集後記

第2回ネット・ゲーム依存支援者向け研修会を開催しました

地域生活支援室より

ネット・ゲーム症外来委員会 デイケア科長 井出 学

平川病院でネット・ゲーム症専門外来と専門プログラムが開始されて2年が経過しようとしています。これまでネット・ゲーム症治療の啓発活動の一環として当事者や家族を対象として公開セミナー、子どもや教育分野に従事されている支援者向けの研修会を開催してまいりました。令和6年12月11日は障害者の就労系サービス、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所など成人を対象とした領域に従事されている支援者向けの研修会を開催しました。

開催前に実施したアンケートでは、当初ネット・ゲーム症に焦点をあてた内容を想定していましたが、現場で抱えられている問題は複数のアディクションにまたがり複雑な様相を呈しているものが多いことがわかりました。そこで前半は「現代の依存症について理解を深めましょう～ アルコール、薬物からギャンブル、ゲームまで～」と題して当院副院長の宮田医師が講演を開催し、その後支援者が小グループに分かれて、グループワークによる話し合いと再度宮田医師に質問をする内容を検討するといった流れで進行しました。

前述した通りネット・ゲーム症だけでなくアルコールの問題、市販薬の濫用の問題、また特定のアイドルに対するいわゆる「推し活」による多額の出費など、様々な依存・嗜癖が

本来の就労や生活に関わる支援の進捗に悪影響してくること、さらにそれを病的な問題として扱ってよいことなのか、また仮に解決すべき問題として提案しても本人への動機づけにはたいへん苦勞するといったことがテーマとなりました。宮田医師からは「21世紀は未病の時代であり、支援者側が予防という視点で関わるのが大切」><嗜癖や依存を止めさせるという姿勢ではなく、なぜそこに至らざるを得なかったかという姿勢での関係作りが基盤>といった回答がありました。

医療機関と地域の関係機関職員が日常の支援を進めるにあたり足枷となってくる依存・嗜癖の問題を共有する研修会を今後も開催していきたいと考えております。



講演する宮田先生と会場の様子

A2病棟は「精神科地域包括ケア病棟」になりました

病棟たより

A2病棟 師長 地福 美恵

A2病棟は以前「アルコール治療病棟」でしたが、令和6年6月より「精神科地域包括ケア病棟」となりました。精神科地域包括ケア病棟は、精神疾患を持つ患者様が地域で生活できるよう在宅復帰や地域定着に向けて支援する病棟です。医師・看護師・公認心理士・薬剤師・栄養士・理学療法士・作業療法士・精神保健福祉士等によるチーム医療を行い、地域移行・地域定着に向けて多職種が連携し、在宅復帰を目指しています。入院より180日以内に患者様の6割以上の自宅等への退院を行っています。患者様やご家族は、疾患が回復すれば住み慣れた自宅で過ごしたいと思っている方が多く、私たちはその思いに添えるよう疾患の治療から退院後の生活まで中心となり関わっています。

病棟では、毎週の日曜日に多職種で行う病棟カンファレンスにより、患者様一人ひとりの情報共有を行い、退院に向けての具体的な目標を設定しています。入院対象となる患者様は、急性期治療を終えて病状が安定した方や在宅療養中に状態が悪化した方などが主に対象となります。

具体的には、次のような支援を行っています。

- ① 様々な疾患や合併症に対する様々な治療
- ② 体力の維持・向上のためのリハビリテーション
- ③ 退院後の地域生活を支援するための介護サービスなどの準備として関係者会議の開催
- ④ 身体状況が回復し、退院先の選定をする際、退院先が自宅の場合は多職種で自宅訪問し、改修についての提案と情報共有

それ以外に、A2病棟の特色であるアルコール依存症患者様への様々な治療プログラムも継続して行われています。

私達病棟スタッフは、精神科地域包括ケアに対する勉強会により理解を深め、患者様の在宅復帰に向けて日々支援を行っています。アルコール看護においても、スタッフ全体のスキルアップのため、学びを続けています。患者様が回復し、自宅や元の施設などに退院できた時は、私達にとって最高の喜びです。

これからも地域の患者様・ご家族様のために、私達の役割をしっかりと果たせるようスタッフ一丸となり頑張っていきます。



A2病棟で行っているプログラム風景

総務課のお仕事について



リレー記事

総務課 課長 藤川 敏男

総務課では、下記の業務内容のとおり多岐にわたり、病院内の全ての部署と関わり、幅広い業務を行っています。

私たち総務課は、患者さまやそのご家族さまと接する機会は少ない部署ですが、各部署との連携を密にチーム医療の一員として、「縁の下の力持ち」をモットーに日々業務にあたっています。

★業務内容について

1. 病院事業などの事務機能

事業計画・事業報告の作成に関すること、新規事業の立ち上げに関すること、一般渉外および院内事務の連携や調整に関すること

2. 人事及び労務管理

社会保険・雇用保険加入続き、職員の入退職管理、雇用契約、勤怠管理、健康管理（健康診断）、外国籍職員の管理、福利厚生管理、給与業務・秘書業務

3. 防災関係（災害対策委員会と連携）

消防訓練の実施

災害予防に関すること全般

4. 行政・官公庁関係

立ち入り検査・監査の対応、官公庁への書類作成提出

5. 物品管理

各種消耗品や医療材料の発注及び払出、医療機器購入の見積依頼、検品作業

6. 施設管理

建物・設備・機器の修理受付及び調整立会い

車両管理および安全運転管理に関すること

7. PC・通信機器管理

電子カルテ全般、PC管理、通信機器管理

8. その他

電話対応、ホームページの管理、送迎業務 等々

◎スタッフ紹介

総務課 10名

（課長1名・係長1名・主任1名・総務係2名・給与係2名・施設管理3名）



Series
委員会紹介 **病院教育委員会** です♪

今回の委員会紹介は、私たち病院教育委員会について紹介させていただきます。

Q1 病院教育委員会ではどんな活動をしていますか？

病院教育委員会は、平川病院の職員が職種を問わず習得すべき知識を提供するために、以下のような活動をしています。

- 各委員会主催の院内研修立案・開催・運営への協力。

当院では院内感染予防対策委員会・リスクマネジメント委員会・行動制限最小化委員会・虐待防止委員会による必須研修、個人情報保護・災害対策・褥瘡予防対策・労働安全・接遇・ハラスメント対策といった研修が開催されています。

- 新入職員のためのオリエンテーションの企画・運営。

全ての新入職員を対象に行う研修です。当院の理念や沿革をはじめ当院における医療安全や感染対策、個人情報の取り扱いなどの様々な分野から実践を交えた講義が行われます。職員としてスタートを切る、大切な場となります。

- 東京精神科病院協会の学会発表コーディネート

精神科医療の発展に貢献できるよう、学会発表も積極的に行っています。特に東京精神科病院協会の学会発表に際しては抄録検討会・予演会などを通じて発表者をサポートします。

Q2 委員会メンバーはどのような職種で構成されていますか？

病院教育委員会のメンバーは医師・看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・事務職・公認心理師等の多職種で構成されています。職種を越えた学びの機会を提供し、患者さんの不安を取るために安全・安心で質の高い医療や支援に繋がられるよう努めています。

Q3 委員会の活動で注目してほしいことはありますか？

必須研修は受講率が100%になることを目指しています。今年度は精神保健福祉法改正で、精神科病院に虐待防止のための研修が義務付けられました。どの必須研修も担当委員会が、最新の知見や必須の知識を盛り込んだ内容を準備しています。これからも患者さんの治療・ケアに役立つ研修が提供できるよう委員一同頑張ります！！



委員会の風景

祭礼行事『^{はつうまさい}初午祭』を執り行いました

今年も敷地内に祀られている琴平ことひら神社にお供え物をし、理事長、院長はじめ職員による玉串奉奠が行われ、患者様、職員皆さんの安全や健康、医業繁盛を祈願しました。

初午祭は毎年2月はじめの午の日に行われるお祭りで、稲荷様の縁日でもあることから全国各地の稲荷神社ではお祭りが執り行われています。



当院は南多摩医療圏の地域拠点型認知症疾患医療センターです

東京都では、平成24年に指定された「地域拠点型認知症疾患医療センター」12カ所（当院含む）と平成29年11月迄に指定されている「地域連携型認知症疾患医療センター」40カ所、合わせて52カ所の医療機関において、認知症の人とその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めています。

認知症に関するご質問がありましたら、各地域のセンターまでお問い合わせ下さい。

尚、センター指定状況や役割の詳細等については、東京都公式ウェブサイト『とうきょう認知症ナビ』でご確認いただけます。

[とうきょう認知症ナビ](#)

🔍 検索

編集後記

皆さんは『医療DX』という言葉をご存じですか？ ChatGPTやAIといったデジタル化が進む今日、医療業界においても人材不足や長時間労働といった問題を解決するため、デジタル技術を駆使し医療の効率化や質を向上させる動きがあります。他業界と比べてデジタル化の遅れ（カルテや処方箋など）が指摘される医療現場においても今後人工知能による24時間365日安定した医療体制の提供は勿論、病気の早期発見など医療DXが急速に進むかもしれません。医療従事者の1人として私も期待しています！！

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします

kouhou@hhsp1966.jp

